

プレスリリース アーベル賞 2025

日本の柏原 正樹氏にアーベル賞を授与

柏原 正樹氏は、アーベル賞を受賞した最初の日本人です。この日本の数学者は、ノルウェーのハーラル国王陛下から、オスロ大学のアウラ講堂で催される荘厳な式典において、賞を授与されます。国王陛下は、2003年に最初の賞が授与されて以来、アーベル賞をずっと見守ってきました。

柏原氏は今週一週間、多忙なスケジュールをこなす予定です。その中には、ハーラル国王陛下との謁見のため、王宮への招待が含まれています。

若者はアーベル賞の一員

アーベルウィークは、高度な専門知識に基づく受賞講演に加え、式典やイベントも含まれており、若手の数学タレントが著名な数学者と交流する機会も提供されています。エマージング・タレントは、そのようなイベントの一つで、メディアからも非常に人気があります。柏原氏を祝福するために、ドイツ、フランス、オランダ、ハンガリー、ノルウェーから若者が参加します。

「アーベル賞は特別な位置を占め、2つの目的が理由で、他の研究賞と異なる点があります。一つは数学における卓越した業績を称えること。もう一つは子どもと若者の数学への興味を促進し支援することです。このような目的を果たす賞はほかには存在しません」と、ノルウェー科学アカデミーの会長であるアンネリーネ・エーリクセン氏は述べています。会長はアーベル賞受賞者をノルウェーで歓迎し、柏原氏との有意義な対話を楽しみにしています。

数学への希望

柏原氏は、自身が今年のアーベル賞受賞者であると発表された3月、「数学が世界中でより多くの評価を受けることを願っています」と述べました。

同氏は、研究者が集まってワークショップを開催できるような拠点の重要性を指摘しています。そして自身は、まさにそのようなセンターである KUIAS（京都大学高等研究院）に勤

務しています。

「私は若い世代、私を継ぐ者たちに期待を寄せています」と、アーベル賞受賞者の柏原氏は述べました。

その画期的な研究について

柏原氏は、代数解析と表現論における卓越した業績によりこの賞を受賞しました。数学の異なる分野間での手法の応用は、柏原氏の特徴の一つです。複数の分野にまたがって活動しており、彼自身および多くの共同研究者たちとともに、数学の問題を解決する際に、ある分野の手法を別の分野へと応用しています。

柏原氏を称えて装飾されたオスロ

アーベル賞は、ノルウェーの数学者ニルス・ヘンリック・アーベル（1802～1829）に敬意を表して、ノルウェー科学文学アカデミーによって授与されるものです。オスロの目抜き通りカール・ヨハン通りには、ピンク色のアーベルの旗が掲げられています。

ちょうどこの時期、オスロの街や公園では300本以上の桜の木が花を咲かせています（一部は日本の桜です）。開花は授賞式中も、もう少し続きます。式典が行われるアウラ講堂の内部も、桜をテーマに装飾され、日本人のアーベル賞受賞者を称える演出がなされます。

オスロ大学講堂は、「オスロで最も美しい場所のひとつ」とされています。

ノルウェーの偉大な画家エドヴァルド・ムンク（1863～1944）は、この講堂の壁を、世界的に有名な大壁画で飾りました。装飾には、大学や科学の物語、そして生命力と創造力の象徴としての太陽が描かれています。絵画が創り出す雰囲気は、息をのむほど独特で特別です。日本の柏原氏が名誉あるアーベル賞を受け取る瞬間を目の当たりにする約500名の来場者は、授賞式とともに芸術体験も味わうことになります。エ

ドヴァルド・ムンクの芸術を網羅的に展示するムンク美術館がオスロにはありますが、オスロ講堂では、この壮大な壁画のオリジナルをその場で体感することができます。

柏原氏の謝意

3月27日、アーベル賞受賞が発表された翌日に京都で行われた記者会見において、柏原氏は感謝の言葉を述べました。まず、この賞を共に成し遂げた同僚たちに感謝を示しました。

そして、指導教員であった数学者・佐藤幹夫氏（2023 年逝去）への特別な謝意を述べました。柏原氏は、自身が 22 歳のときに執筆した 1970 年の修士論文が画期的なものであったのは、佐藤幹夫氏の研究を受け継いだからこそ可能だったと語っています。この修士論文は、長年にわたり日本語の講義ノートという形でしか存在せず、1995 年まで英訳されることはありませんでした。そのため、柏原氏の数学が世界的に知られるまでには時間がかかったのです。

境界のない解法

2025 年 3 月、柏原氏がアーベル賞受賞者として世界に発表された翌日の京都での記者会見で、同じく数学者である京都大学の森重文教授は、2025 年のアーベル賞受賞者である柏原氏について次のように語りました。

「柏原先生は学生時から有名でした。柏原先生の素晴らしいところは、数学には代数、解析、幾何という 3 つの分野がありますが、彼の頭の中ではこれらの間に境界が存在しないことです」

現在、柏原氏は韓国出身の 3 人の数学者たちとともに、興味深い数学の問題の解決に取り組んでいます。

＊ ＊

日本の報道関係者の皆様には、さまざまなイベントへのご招待があります。柏原氏へのインタビューをご希望の場合は、ノルウェー科学文学アカデミーの広報チームとの事前の調整が必要です。

アーベルウィークでは、数学という学問を称えるさまざまな催しが、ノルウェーの 2 つの都市、オスロとトロンハイムで 1 週間にわたって開催されます。

ノルウェー科学文学アカデミー（DNVA） プレス窓口：

Marina Tofting

広報・社会責任者

メール：marina.tofting@dnva.no

電話：+47 938 66 312

Unni Irmelin Kvam

シニア・コミュニケーション・アドバイザー

メール：u.i.kvam@dnva.no

電話：+47 95 172 672

ノルウェー科学技術大学 NTNU プレス窓口：

Björg Danielsen

広報・メディア担当

メール：bjorg.danielsen@ntnu.no

電話：+47 926 03 031